



関西支部報

http://www.jackansai.com

登山文化研究会がスタート

金井良碩

関西支部では、日本山岳会本部からの特別事業補助金の交付を受けて、今年度より登山文化の継承を目的とした登山文化研究会がスタートしました。支部では、従前より「著者と語る会」を毎年開催し、山岳書の著者を講師に招いて著者が執筆に至った動機や背景、そして山岳書の持つ意義などの講話を拝聴してきました。支部報では、山の音楽や日本の山岳画について、研究発表がなされています。また、実働部門として、写真やスケッチの同好会活動が活発に実施されてきたところ。このように、支部では登山行為の持つ文化的な側面を重視した取り組みがなされてきたところであり、今後も「登山文化の継承」により強力に組織的な活動を進めようとするものです。更には、登山の持つ強い文化性を多くの人々に発信することにより、より幅広い層から山への関心を高めて、より山に親しんでいただきたいと願うものです。

さて、一方では全国規模で、すでに2003年に山岳文化学会が設立され、様々な分野の活動がなされています。支部の研究会においても、山岳文化学会員で本会の京都・滋賀支部所属の内田嘉弘さんをお招きしてその活動内容について情報収集を行いました。内部組織としての分科会が10程度あり、講演会やシンポジウムの開催、会報

や論文集の定期的発行、山岳文化叢書の発刊など活発な活動が継続してなされています。支部登山文化研究会のお手本となる組織ではありますが、かなり専門性の高い活動となっています。当支部研究会では、もう少し親しみやすい身近な課題を中心に研究を進めていこうと考え、大学など研究機関の研究と市井の研究者の研究との違いぐらいに位置付けて気を楽しんでいきたいと思えます。

支部の研究会は、「山岳書」「山岳画」「山の音楽」「山の民俗・宗教」「関西岳人伝」の5分野で展開します。9月発行の支部報第173号で研究会の発足と参加者募集案内を掲載したところ、今まで準備を進めてきたメンバーとあわせ、各部門にそれぞれ数名程度の参加者が集まっています。特別事業補助金の申請は、便宜上三ヵ年計画としていますが、今後、より息の長い活動を継続していくつもりですので、いつからでも参加希望を受け付けたいと思っています。会員、会友各位が、それぞれ関心のある部門へ一人でも多く参加されることを歓迎いたします。

「山岳書」については、野口恒雄さんをリーダーに日本山書の会所属の関西支部員を中心に研究会が構成されて、月1回程度の会合を持っています。今年度は、山岳書

新年会のご案内

関西支部恒例の新年会を下記のとおり開催いたします。2018年入会の会員・会友の歓迎会も兼ねます。お誘い合わせのうえご出席くださいますようご案内申し上げます。

日時 2019年1月23日(水) 18時30分～
会場 大阪梅田「大東洋」 電話06-6312-7525
会費 6,000円

出欠は同封のハガキに62円切手を貼って、
1月15日までに投函ください。

目次

登山文化研究会がスタート	金井良碩	1
「山の日講演会」報告	柴田美生子	2
支部山行報告		3
▽高峰山・高時山▽保津峡・沢山▽桃山▽奥三界岳▽石山▽太神山▽信楽▽布引▽一軒茶屋▽有馬▽西寺山▽白髪岳▽井手ノ小路山・高樽山▽津黒山▽白髪山▽山乗山		
本山寺山森林づくりの会活動報告		
自己紹介	武田壽夫	10
ヨーロッパ・アルプスでお部屋を覗く	嶋岡章	12
台湾高峰と溪谷 第3回	茂木完治	13
会務報告		14
新入会員・会友紹介		16
支部山行計画		16
自然保護行事		18

の誕生をテーマに研究発表を行う予定です。次年度以降は、山岳書の出版社や山岳書の未来展望の研究を進めていきます。

「山岳画」については、準備段階から嶋岡章さんが熱心に関わって来られましたが、現在は事情があって休憩中です。したがって、今のところプロジェクトリーダーの私が山岳画のリーダーを兼務しています。今年度は、昨年嶋岡さんが支部報に発表された、「日本の山岳画」をテキストに研究を進めていきますが、早急に研究会の体制を整えたいと考えています。支部には「スケッチ同好会」があり、ふた月に一回程度スケッチハイキングを実施し、年に一度、発表会(グループ展)を開催しているので、このメンバーを中心に再編成し、今後の展開を示していきたいと考えています。

「山の音楽」は、水谷透さんがリーダーで山の歌の音楽会やCD鑑賞会の開催などを通じて、活動の幅を広げる意向ですが、現在のところ研究会メンバーが不足で新たな参加者の登場に期待しています。クラシックやオペラ等の音楽とともに、アルペンホルンやアンデスのケーニャ、チャランゴなどの楽器や、あるいはヨーデルなど山の音楽全般の研究を進めます。

「山の民俗・宗教」は森澤義信さんをリーダーに、当面、大峰山の女人禁制について、登山者や地元住民へのアンケート、インタビューにより、現状と解禁の将来展望について研究します。今年度は研究会が中心になりますが、次年度以降イベントや発表会を企画していきます。また、この分野の対象は非常に幅広いので、参加会員の興味に

応じてテーマを選別していくことになります。

「関西岳人伝」は加藤芳樹さんをリーダーに研究会が構成されていますが、その母体となっているのは、これまで任意の会として、ここ数年、関西の登山史研究を進めてきた方々です。この部門に興味を持つ会員は多く存在するので、様々な切り口で、いろんな岳人たちの研究がなされるものと期待できます。3年目にシンポジウムを開催する段取りですすめています。関西支部では、大阪府山岳連盟、兵庫県山岳連盟との共催で、『藤木祭』を毎年9月30日に近い日曜日に芦屋の高座の滝前で開催してきました。RCCの創始者である藤木九三翁を偲び、六甲の自然を知り、登山者の安全を願う催しです。関西支部は、このRCCと戦前の関西学生山岳連盟が中心となって設立されました。こうした近代登山黎明期の岳人、あるいは、もっとさかのぼって、ウエストンと時代を共にした神戸外国人居留地の岳人の興味深い存在など研究対象に事欠きません。関西ならではの情報発信が大いに期待されます。

以上のような状況のもとで、関西支部の登山文化研究会はスタートしました。今後は支部会員、会友に支部が企画する様々な山行を経験していただくばかりではなく、登山の持つ文化性に着目した研究会に多くの方々に参加いただき、登山にかかわる歴史文化を深く認識し、そしてその成果を広く公開することにより、新たな視点を持った登山者を創出し、より幅広い観点からの登山活動の喚起を促したいと考えています。皆様の積極的なご参加をお待ちします。

「山の日講演会」報告

柴田美生子

平成30年8月30日(木)OIT梅田タワー2階セミナー室にて開かれた「山の日講演会」に参加した。例年は支部会員対象の夏季懇談会が催されていたが、今年度より公



写真提供：水谷 透

益事業の一環で広く呼びかけた「山の日」講演会として開催、会員47名、一般27名の計74名が集まった。

講演は、真崎文明(モンベル上席顧問・前社長)氏によって「岳人・Dr.Mの山道具考」の演題で、登山文化の伝承ということから“登山ウエアの変遷”について話された。18世紀の産業革命まで登山ウエアは、天然素材が使用されていた。そんな時代から現代までの「アウトウエア」と「アンダーウエア」の変遷と合成繊維の歴史が主な内容となった。

キスリングザックの画像に始まり、私の世代には全く馴染みのない登山道具やウエア。真崎氏と同世代の方々は、「こんなウエアを着て登山していましたね」という話に頷く姿が見られたが、私の世代にはどんなウエアだったのだろうか？ 重かったのだろうか？ ゴワゴワして

いたのかな？ 等々、画像から想像しながら話に聞き入った。

私は、登山用の衣類以外でも、衣服を購入するときには、店員さんとタグ表示をみながら繊維の特長など聞いてから購入するのだが、よく考えてみれば、繊維の歴史に触れることがなかったので、とても興味深くお聞きすることができた。

登山歴の浅い私が知っている登山用具(ウエアに限らず)と言えば、機能性に優れたもの軽量のものばかり、ウエアの変遷で今回目にした画像の中の昔のウエアと比べると、はるかに快適な登山ができるものばかりである。

「アウターウエアは、ゴアテックスのもの、インナーウエアは、メリノウールのを着用しましょう」と教えられた記憶がある。まさに今回の真崎氏の講演そのもの。ハードシェルは防水透湿性素材のもの、アンダーウエアは、吸湿、保温性に優れた物を着用するという、さらにそれさえ守れば、中間着などは、どのような物を着用しても大丈夫であるということであった。

先日、山用品のお店へ行くとこれから山歩きを始めようとしていると思われる若い女性が二人、レインウエアの前で一度は足を止めて商品を見ながら「これもいるんだよね…、でもこれ以外にもいるものがあるから…」とその場から離れていった。また、先日の登山教室は、雨が降る中、伊吹山へ登った。途中すれ違った人の中にレインウエアを着用していない人もいた。真崎氏の「これさえ守れば…」が、何度も頭の中に響いていた。一般へ向けての「山の日」講演会での演題としてとても良い内容であり、これから山登りを始める人や私のような登山歴の浅い人にももっと参加してもらいたい講演であった。

□山の日講演会終了後、会場1階にある「オイスターバー・ワフ」にて懇親会がもたれた。

【懇親会参加者】

新井浩 居谷千春 岩崎しのぶ 魚津清和 浦上芳啓

大津陸郎 岡田輝子 小黒節郎 加藤芳樹 金井良碩
 黒田記代 小寺佳美 薦田佳一 重廣恒夫 柴田美生子
 嶋岡章 高木知子 辻和雄 豊田哲也 永井和 中島隆
 中谷絹子 中村久住 中村三佳 野口恒雄 橋本圭之輔
 平井一正 馬島有美 水谷透 宗實慶子 宗實二郎 山
 田健 許基滄 京都支部3名 会員外5名 計41名

欠席者の便りから

☆東お多福山草原保全再生事業をはじめて11年目、三季にそれぞれ花は咲き、数も増えてきました。唯増えないのが日本山岳会会員の皆様です。ハイキングですばらしい草原を楽しんでいただくのも良いのですが、あなたにも草原保全事業に参加して欲しいのです。お待ちしております。
 5262 桑田 結

☆元気で居ます。が… 85歳はとうに過ぎました。衰えた身体機能ではどうにもならず「山は眺めるだけに」になりました。それでも「オレなら、どう登る…」で心であがいている昨今です。皆様によろしく。 5511 齊藤裕二
 ☆5月1日から石川県の舳倉島へ野鳥観察に行き、4日の予定が波が荒く7日まで島に閉じ込められる状態。おかげで心ゆくまでの観察ができた(内心ヒヤヒヤ)。9日から佐渡島の野草観察登山。あいにくの雨、しかしニリンソウ、シラネアオイ、カタクリ、オオミスミソウ、エゾエンゴサクetc。楽しむことができた。今は、島と花の人生なり。
 6798 川田哲二

☆8/17より1ヶ月モンゴル行きのため、欠席させていただきます。
 10353 城 隆嗣

☆アラスカに行くことになったので欠席いたします。モンベルのお話もお聞きしたかったので残念ではありますが、山を選ばせていただきます。
 13568 茂木完治

☆小さな沢を歩きたいです。よろしく願いいたします。
 14337 山崎 詮

☆7月より栃木県那須高原で仕事になります。8月お盆休みには北アルプス縦走します。
 15623 猪川 誠

支 部 山 行 報 告

支部山行18-13 4000山グランプリ
高峰山・高時山
 重廣恒夫

台風12号襲来で延期したが、黒井沢林道のタクシー通

行が難しいとの情報を得たので、急遽予定を変更した。
8月11日(土)晴

中津川駅からタクシーで国道19号線を北上し、「夜明けの森」からさらに林道を走り登山口となる鎮之峠に向かう。峠に不要な荷物をデポして歩き始める。最初は陸

線の南を走る林道を歩いていたが、段々と離れてしまうので植林地を駆け上り登山道に合流する。道は良く踏まれており、淡々と一本道を頂上に向かう。頂上手前のコルから下り、暫く登ると保護石に囲まれた二等三角点の頂上(945m)に出た。たくさんの観音菩薩の納められた観音堂がある。帰路、北に下ると林道にでるが、時間がかかりそうなので、往路を戻る。峠に戻りほどなく到着したタクシーに乗り込み渡合温泉に向かう。しかし高樽滝の出合でゲートに阻まれてしまい、渡合温泉まで3.7kmの林道を歩く。さらに渡合三滝を見て植林地の道を歩く。途中で道が判然としなくなり、河原の平坦地を見つけてテントを張った。

8月12日(日)晴

キャンプ地を出発してから伐採地の通過で道が判然としなくなった。しばらく藪を漕いで登山道に合流する。さらに沢を渡り右手上部の林道に上がる。しばらく歩くと林道から登山道に入る標識が現れた。しかし濃いススキの道は踏み跡も少なく堰堤に突き当たってしまった。いったん引き返し左手の沢を渡って登山道に合流した。植林地の急斜面をトラバースして木曾越峠に着いた。峠に荷物を置いて高時山へ向かう。加子母側からつけられた林道から車で来る登山者が多いのか、峠からの尾根筋の道は良く踏み込まれていた。ひたすらに登山道を辿り、ダケカンバのある頂上(1563.7m)に着いた。雲に隠れているが開けた北方に御嶽山のシルエットが見えた。帰路登りには気が付かなかったが途中に木の芯が黒く焦げて空洞となった落雷木があった。峠からの下山には加子母・上桑原へ下る道を辿ったが、林道終点に出るまでは緊張の急下降であった。長い林道を下り「加子母道の駅」に到着してタクシーを待った。



高時山山頂にて 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

11日 鎮之峠10:43～11:47高峰山～12:29 P 843～12:48鎮之峠(タクシー) タクシー降車地14:10～15:30渡合温泉～

15:58渡合三滝分岐～16:40キャンプ地

12日 キャンプ地04:26～06:29木曾越峠～07:21P1434～08:10高時山～08:59落雷木～09:16木曾越峠～10:59林道終点～12:48加子母道の駅

【参加者】

黒田記代 野村珠生 重廣恒夫

計3名

支部山行18-15 しっかり歩こう

保津峡～高雄～白砂山～沢山～桃山

山内幸子

8月19日(日)晴

うだるような暑さの中、保津峡駅に集合して自動車道を落合橋まで歩き保津峡へ。水遊びの人たちを見ながら清滝、高雄へ出て周山街道を北に、白雲橋から福ヶ谷へ入る。

福ヶ谷は、アスファルトの結構急な登りで始まる。峠を越え、高鼻谷を下り小1時間で白砂山の取付点にでて、昼食タイムとした。

ここで登山道を探すが、はっきりした道はなく尾根の突端から尾根に取付き、南に向かって這いつくばるように登る。しばらく進むと踏み跡が出てきて白砂山に導いてくれた。白砂山は展望のない268mの山であるが結構登り応えがあったので一仕事終えた気分になる。頂上から南東に向う道はよく踏まれており一番利用されている白砂山への登り道であることが分かる。

沢ノ池・沢山への登山道はよく踏まれた道であり歩きやすい。しかし登りが続くのでここからは熱中症にかからないように水分をしっかりと補給しゆっくりと休憩時間をとりながら歩くことにする。

沢ノ池分岐や沢山取付でゆっくり休憩し、今日のメインの山である沢山に向かい頂上(二等△・点名鷹峰516m)で記念撮影して取付点に戻る。目の前に大きく構える吉兆山(470m)を越え、桃山に登り返す。今日の登りはここ桃山(466m)までで終わり、原谷までは下りのみでホット一息つきながら原谷口バス停に到着して極暑の歩きを終える。

暑い中、目の前に見える山を越えて歩くのは結構疲れ、時間オーバーではあったが予定通り歩いて満足した1日であった。どの山も展望はなかったが静かな里山歩きが楽しめるコースだった。

【コースタイム】

JR保津峡駅09:10～09:35落合橋～10:22愛宕山月輪寺分岐～11:27福ヶ谷入口～12:20白砂山取付点13:00～13:30白砂



澤山にて 写真提供：山内幸子

山～13:46三宝寺道合流～15:30沢山分岐～15:42沢山～16:03沢山分岐～16:40吉兆山～17:00桃山～17:50原谷口BS

【参加者】

山内幸子 久保和恵 永井和 計3名

**支部山行18-16 4000山グランプリ
奥三界岳**

豊田哲也

8月25日(土)曇のち晴

台風20号の影響で心配された雨も、タクシーを降りた頃には止み、山行中殆ど雨に遭わずに済んだ。前週の山行で左足を痛め不安だったが、終始ゆっくりペースで、慎重に歩いて助かる。林道から小尾根を越え重量制限の吊り橋を渡ると上部林道へ続く急登となり湿度が高く大汗をかく。林道合流点迄上がり休憩していると作業用トラックが来て驚いた。やがて夕森山、次いで昇龍の滝が見えて来る。滝の下部にあった上下の橋のうち上の橋が無くなり代わりに手前に代替道がついている。下の橋の下では砂防堰堤工事中だ。

夕森山西側林道にてテント設営。近くに水場もありいい所だ。夕森山登山に向け出発。

林道から山頂迄水平距離でも高度差でも300mの急傾斜の山だ。南側から林道を回り込むが、どこも急峻で登れそうにない。普通の登山道なら1時間もあれば登れるところ、この藪では2時間で登れるかどうか。下山も合わせ3時間は見ておいた方がよさそうだ。途中崖上にカモシカが現れ「何しに来たのだろう」という顔で我々を見下ろしていた。東側の北へ突き上げる沢まで来た。ネットに出ていた登山者が登った沢だろう。水量が多く、全身ずぶ濡れは必至。この沢は頂上ではなく北に延びる

稜線上のコルに到り、コルから頂上へは猛烈な藪とこのこと。前日からの雨で木も笹も岩も濡れて滑りやすく浮石落石も心配だ。今から登ると下山時には暗くなるかもしれない。重廣さんの引き返すとの声を聞いて正直ほっとした。

8月26日(日)晴

3時起床。早い出発は奥三界登頂後、夕森山への再挑戦の含みか？ 奥三界岳へは天気も良く順調に登る。小尾根を登ると景色が開ける笹原となる。水の豊富な山で登山道も一部は沢の中を歩く。頂上近くは湿地帯となり水芭蕉の大きな葉が残っている。壊れそうな展望台があり御嶽山や恵那山が見えた。私の国内1003山目の山だ。下る途中、重廣さんがケルンを微妙なバランスで積んだり、花の名前を解説したり…これで夕森山登山は無いなと思った。幕営地に戻ると重廣さんより“時間がないので夕森山へは行かない”との説明あり。11時にはここを出ないとタクシー予約の時間に間に合わないとのこと。夕森山の弱点(藪の薄い所)は沢のようだ。よく見ると幕営地の水場の右に小さな沢があり藪が薄く入っていきそう。暫く休憩。キマダラヒカゲがザックに止まったり、白いトリカブトを発見したりとゆっくりした後、下山開始。秋晴の景色を楽しみながら楽しく山行を終えた。

四国の天狗森・亀谷山に続き2回目の4000山グランプリ参加。雲の上の存在だった重廣さんとも少しは気楽に話せるようになった。



吊り橋を渡ると急登が待っている 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

25日 林道ゲート10:53～11:08忘鱗の滝～11:23銅穴の滝(昼食)～13:16上部林道合流～14:24付替道入口～14:33幕営地～15:25夕森山東側の沢～16:00幕営地

26日 幕営地04:23～05:12営林小屋跡～06:15最後の水場～07:06奥三界岳07:26～08:42営林小屋跡～09:25幕営地10:15～11:10林道下降点～12:15吊り橋～12:42林道ゲート

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 中村三佳 豊田哲也 計4名

支部山行18-17 六甲全縦トレーニング(1)

9月1日(土)実施予定は、中止しました。

支部山行18-18 ゆるやか山行 東海自然歩道11
「太神山コース」

嶋岡 章

9月6日(木)晴後曇

集合地JR石山駅前から帝産バスでアルプス登山口へ。バス停先の広場で山内SL指導による恒例のストレッチで身体をほぐして出発。舗装路をゆるやかにのぼっていき迎不動を通過し太神山登山口の不動橋へ。ここから参詣道は山道となり本格的な登りがはじまる。2日前の台風21号で千切れた小枝が山道に堆積しており、これが足に纏わりつき歩きにくい。登るほどに倒木が増え、これを迂回したり、跨いだり、潜ったりするのが結構煩わしい。倒木は数カ所にのぼったであろうか、改めて台風のすさまじさを感じられた。泣不動を通過し、二尊門をくぐって太神山不動寺境内へ。ここで遅刻していた高木さんが追いつき合流。

全員で急峻な石段をのぼり、不動寺本堂へ。この本堂は巨岩に挟まれ、下部は舞台造りになっていてミニ清水寺と呼ばれ重要文化財となっている。本堂のすこし先に太神山山頂があり、二等三角点(499.7m)と奥ノ院の祠がある。その横にあった小さな祠が台風で吹き飛ばされ転倒していたので、有志で「よっこらしょ」と元にもどしておいた。庫裏の境内におり昼食を摂ってから下山とする。

筆者は13年前に太神山～矢筈ヶ岳～笹間ヶ岳を縦走している。しかし今回は東海自然歩道をたどるのが目的な



きつい勾配の階段が続く 写真提供：中島 隆

ので、往路を参詣道信楽分岐までもどり信楽方面に下る。途中、三筋の滝を觀賞したりして田代バス停に無事到着し解散とする。この後、信楽～貴生川～草津を経て帰阪し、有志でガード下にもぐりこみ居酒屋で二次会をやったのは、また別のお話。

【コースタイム】

アルプス登山口BS09:05～09:50迎不動～11:00泣不動～11:37不動寺11:49～11:58太神山～12:12不動寺12:50～14:14三筋の滝14:23～14:51田代BS

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 岩崎しのぶ 上田典子
浦上芳啓 薦田佳一 嶋岡 章 高木知子 田頭夏子
中島 隆 野口恒雄 松村文子 松村竹次郎 森沢義信
山下政一 木村早苗 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキ
エ 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 計23名

支部山行18-19 六甲全縦トレーニング(2)

布引～有馬

前田正彰

9月15日(土)曇一時雨

週間天気予報から不安定だったこの日の天候だったが第1回を雨で流したことでもあり、前日の予報でそれ程大降りにはならないようだったので決行とした。参加予定者全員が新神戸駅に定刻前に集合、雌滝前の空地で柔軟体操をして出発。前日までの雨で水量豊富な「雌滝」「鼓ヶ滝」「雄滝」をゆっくりと觀賞しながら登り、布引貯水池では「五本松隠れ滝」の豪快な瀑布も見る事ができた。

市が原で小休止して摩耶山へ。全縦コースの中でも最も長くそして起伏の大きい登りだ。真夏の太陽こそないが気温は25℃、それに湿度が高く、進むにつれてきびしさが増してくる。途中二度小休止し、丁度2時間かけて摩耶山掬星台に到着した。

食事と体力回復のためにゆっくりと休憩して出発。折角のパノラマの景色もお預けだ。そして雨が降ってきた。レインウエアーをつけるほどでもなくザックカバーと“傘”で凌げる程度ですんでくれてありがたかった。一軒茶屋までの坦々とした長い道中、ガーデンテラスで觀望も兼ねて一息入れたが下界の景色は流れる霧の向こうにかすかに眺められただけだった。この頃には雨もすっかりあがっていた。ドライブウェイではアスファルト道でなく七つのこぶの山道をきっちりと上り下りできた。

一軒茶屋からは下りの一直線。「魚屋道」を一気に駆

け下りた感じ。本来この道は名前の由来どおり魚崎浜辺りから有馬温泉へ新鮮な魚を天秤棒で担いで運んだ道なので歩きやすいはずなのだが特にここ数年の大雨、先日の台風などで荒れ放題となっており大小の岩と崖崩れ箇所往年の面影は全くといっていいほど消滅してしまっている。17時前に有馬温泉に下山、すぐ横にある「かんぽの湯」で疲れきった体を癒して散会した。



布引雄滝にて 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

新神戸駅08:20～09:45市が原～11:45掬星台12:15～13:50
記念碑台～14:25ガーデンテラス～15:40一軒茶屋～16:50
有馬

【参加者】

播戸日出生 松仲史朗 横山規江 前田正彰 会員外1
計5名

支部山行18-20 しっかり歩こう
丹波の山 西寺山～とんがり山、白髪岳へ
小黑節郎

9月17日(月・祝)曇

JR福知山線古市駅に集合、タクシーに分乗、登山口へ移動し体操後出発。暑かった夏も終わり過ごしやすい気候で気分も上々。今日はしっかり歩こう常連メンバーに加えて初参加の岩崎さんと、遠路姫路から参加の永野さんとは初対面。メンバーが新鮮なうえに、丹波の山は初めてなので自然と気合が入る。

登山口から谷に入るが、足場が悪いのと台風後の倒木の影響で苦勞して高度を稼ぐ。約1時間で稜線に出て視界が開けてほっとする。今日目指す稜線が遠くまで続き気持ちを引き締まる思い…あそこまで行けるだろうか？

その後は「しっかり歩こう」らしく、道なき道を進む。急登を登り第一目標の西寺山(645.9m)に到着。三角点はあるが樹林帯で展望は望めない。アップダウンを繰り返した後(途中昼食あり)、一旦縦走路から離れて特徴のあるピークのとんがり山(点名宇土奥620m)に到着。頂上には小さな祠もある。360度の展望を楽しみ記念撮影後、縦走路にもどり今までよりは歩きやすくなった道で距離を稼ぐ。白髪岳直前の分岐に到着するが、既に17時過ぎ。時間が遅くなったのとガスがでてきたので山頂をあきらめ住山へ下山となる。急な下りの後は台風による倒木の多い林道から一般道へと進み古市駅を目指す。丹波らしく丹波栗や黒豆畑が左右に広がり、ジビエ専門店の民家もある。日の入りが早くなったと感じながら古市駅へ。

次の電車までちょっと時間があるので駅そばのコンビニ・イトインコーナーで乾杯!「お疲れ様でした!」連休なのに他の登山客とは一人も出会わなかった「しっかり歩こう」らしい山行でした。8月はスイスに行っていたのでアルプスとのギャップを大いに感じた「日本の山」を味わう充実した1日でした。今回登頂できなかった白髪岳と松尾山は宿題としていずれチャレンジしたいと思います。



西寺山にて 写真提供：山内幸子

【コースタイム】

四斗谷登山口08:45～09:40稜線～11:09西寺山～13:30とんがり山～17:03白髪岳手前分岐～18:20古市駅

【参加者】

山内幸子 岩崎しのぶ 久保和恵 永井和 永野彰一
小黑節郎

支部山行18-21 4000山グランプリ
井出ノ小路山・高樽山

村田かおり

9月22日(土)曇

雨模様が好転し、第2ゲートから長い林道歩きが始まる。約2kmで真弓峠分岐に到着。立派な標識があり明日のテントサイト予定の「初代ヒノキ」方向を確認し、今日はからさわ橋へと進む。備林ゲートを抜け井出ノ小路橋を過ぎ約30分で「大ヒノキ」標識、合体木(ヒノキとサワラの接合樹)が見えて来る。ここからは“式年遷宮斧入れ式跡地”“御用材伐採式跡地”などの標識が出てきて、古くから城郭・神社仏閣へ「木曾ヒノキ」を備林・供給してきた場所であることを知る。美林橋を過ぎ、テントをからさわ橋の上に張った。約7kmの林道歩きであった。先日来の雨で沢の水量も多く、十分な水を確保し、明日に備え早めに就寝した。

9月23日(日)晴

4時起床。上空には零れ落ちんばかりの星が輝いている。しかし、うっとりするような星空と裏腹の1日が始まることになる。から谷(茶屋小屋谷)に入り、累々たる岩の沢の中を進む。から谷と呼ばれているが、1650m分岐からの沢筋は水流と藪が現れ、コルからは背丈程の深い藪との格闘が始まる。笹を全身で掻き分け、倒木を乗り越え、石楠花が現れると藪が薄くなり井出ノ小路山(1840m)に到着した。出発から4時間余りかかり疲労困



井出ノ小路山頂の標識 写真提供：重廣恒夫

憊。一旦コルに戻り、南へ約300mの「△中ノ谷(1806.4m)」に向かう。深い藪に足を取られながら笹の上を泳ぎ、40分程で到着。山頂の木にトラテープが巻いてあり、三角点は笹に埋もれていた。復路を約3時間かけて下り、今日の宿泊地まで林道を更に4時間歩く。全行程12時間。ふらふらの身体にごはんを無理やり詰め込みシュラフに潜り込んだ。

9月24日(月・祝)曇

2時起床。筋肉痛になった身体をなだめながらの出発。林道を約3時間歩いて真弓峠着。今日もまた藪と覚悟していたが、峠から1650m地点までは笹が刈り払われており順調に進む。もしや山頂までと期待したが、そんなに甘くはなかった。切開き終点から山頂までの約1時間は、昨日同様の深い藪だった。高樽山山頂(1673m)は石楠花と笹に塞がれている。登山者がめったに訪れないことを物語るかのようにプレートの文字も剥げかけていた。三角点は近くにあったが、藪に埋もれ探し出すのに時間がかかった。下山は笹藪を過ぎてからは足取りも軽く、アサギマダラを愛でながら無事ゲートに到着した。

久しぶりの藪山行で、筋肉痛に打ち身、笹による裂傷と傷だらけだったが、最後に「蛭の口づけ(私だけ)」をいただき、今回の登山は終了した。

【コースタイム】

22日 第2ゲート11:20~12:00真弓峠分岐~12:20第3ゲート~13:20美林橋~13:40P 1042~14:50近江橋~15:30からさわ橋(TS1)

23日 TS105:25~07:24沢分岐~08:00コル~09:14井出ノ小路山~10:37中ノ谷~13:30からさわ橋~15:45真弓峠分岐~17:10高樽谷(TS2)

24日 TS203:30~06:35真弓峠~07:30切開き終点~08:30高樽山~09:40真弓峠~11:50TS2~13:30第2ゲート

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 村田かおり

計3名

支部夏山山行について検討会開催します！

2019年の夏山(7月・8月)は、関西支部の会員で行きたいと考えています。日程や目的の山域・山などを参加メンバーで計画しませんか。

夏山山行に参加を希望する会員は、支部ルームに集まって下さい。

第1回 1月30日(水) 18:30~20:00

継続して第2回(2月27日(水))、第3回(3月27日(水))を開催します。

検討会への出席を予定される方、また夏山山行には参加したいが第1回の会合出席の都合がつかない方は、山行委員長宛(黒田:kuroda2822@kcn.jp)にメール下さい。

夏山山行に限らず毎月の支部山行について、ご意見・ご希望もお寄せ下さい。「参加したくなる支部山行」を企画していきたいと思ひます。

支部山行18-22 六甲全縦トレーニング(3)

9月29日(土)実施予定は、台風24号襲来のため中止しました。

支部山行18-23 沢登り例会

10月6日(土)～7日(日)実施予定は、雨天予報のため中止しました。

支部山行18-25 4000山グランプリ

津黒山～白髪山～山乗山

中村三佳

10月20日(土)晴

岡山駅から津山線、姫新線と乗り継ぎ、中国勝山駅に到着。タクシーで山乗峠に向かう。車窓から真っ赤に紅葉した山々の眺めを期待していたがさほどでもなく、運転手さんによると、色づくにはまだ冷え込みが少ないらしい。峠まで4kmほど手前で交通規制があり、林道乗入れできないので、入山を山乗山から津黒山に変更して、逆から縦走することにした。

津黒山登山口で下車。展望台があり、さっそく大山を探すが見えなかった。登り始めると、いきなり急登が続く。鬱蒼とした樹林帯の中、晴のはずが薄暗い。植生が笹へと変わると、津黒山山頂(1117m)に到着した。頂上は平坦地で展望が開けていて、蒜山三座が見えた。風が吹き抜けて急に体感温度が下がる。見上げると鼠色の雲が浮かんでいた。リーダーの“あれは雪雲、降るかな”の一言に、冷え込む不安をよそに、初雪に出会えるかもしれないと楽しみになった。

白髪山に向かう。道は根曲竹の群生地となる。根曲竹は、背丈よりずっと高く、強くて硬く、しなり、私のスネや顔を突き刺し、歩みを妨げる。途中、月夜茸が不気味に寄生したブナの巨木があった。ひたすら藪をかきわけながらリーダーの後をついていく。白髪山(1114m)に到着したが、藪の中で写真を撮ることもなく進み、市町村の境界線となっている尾根を山乗山に向かった。根曲竹は、ますます巨大なフェンスのようになって私たちの行く手を阻む。それでもなんとかコルまで辿り着き、沢筋を下って林道に降り立った。気温が下がってきたので、テント内で夕食を取る。上弦の月が眩しい。午後8時就寝。

10月21日(日)晴

4時起床。5時半出発。明るくならない中、コルまで登り、山乗山に向かって北尾根を登って行く。

今日もひたすら藪漕ぎだ。しばらくすると藪の隙間か



蒜山の彼方に大山が見える 写真提供：重廣恒夫

ら真っ赤な太陽が差し込んできた。1053図根点を通り、山乗山山頂(1047m)に到着したが、眺望も標識もなく、わずかなスペースに四等三角点があるだけだった。南西に延びる尾根を下り、林道に合流したところでようやく藪漕ぎから解放された。下山口までの道から、澄み渡る高い空と色づいた山が見え、大山も望めた。タクシーで足温泉に向かい、藪漕ぎの疲れを癒して帰路についた。

【コースタイム】

20日 津黒登山口12:26～13:51津黒山山頂～14:46白髪山山頂～16:30幕営地
21日 幕営地05:38～05:55コル～06:48図根点～06:57山乗山山頂～08:14P991～08:33林道合流～10:37不動滝入口

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 村田かおり 中村三佳 計4名

個人山行(7月～9月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

7/1	鈴鹿 佐日子谷川姫ヶ滝
7/7～8	丹波高地 百合谷・聖ヶ谷
7/13～23	東北 八幡平・和賀岳・泉ヶ岳
7/22～27	北ア 五色ヶ原～薬師岳
7/23～24	北海道 渡島山地 雄鉾岳
7/27	大峰 北山川・白川又
8/4～5	大峰 刈安谷下降・不動七重の滝下降
8/5	鈴鹿 野洲川・元越谷
8/7～31	北ア・南ア 薬師岳～笠ヶ岳・塩見岳～光岳
8/12～15	飛騨 位山・猪臥山
8/14～16	北ア 唐松岳～白馬岳
8/15～17	北ア 黒部五郎岳
8/17～20	北ア 錫杖岳～笠ヶ岳
8/18	富士山

8/25～26 奥秩父 瑞牆山～金峰山
 8/27 中ア 恵那山
 8/29～9/12 アラスカトレッキング
 9/1～2 富士山
 9/1～3 北ア 霞沢岳
 9/5～7 富士山須山古道
 9/7～8 草津本白根山

9/22～23 大台ヶ原 北又川・小処谷
 9/22～24 奥飛騨 高原川・沢上谷
 9/22～25 八丈島 沢登り
 9/25～28 北ア 劔岳～立山
 9/26～28 北ア 槍沢水河公園
 9/30 北摂 百丈岩

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(7月～9月)

武田壽夫

7～9月は集中豪雨(7/5～7)、50年ぶりの超台風(9/4)と大規模な災害に見舞われ、その影響把握や自然歩道・作業道の復旧を優先した活動となった。

2018年7月12日(木) 9:30～15:00

天候：曇(12時の気温：24℃)

エリア：44林班ろ・い(東海自然歩道と西側の干害防備保安林一帯)

内容：東海自然歩道・作業道の巡視と整備、保安林の林床整備・木柵現況調査

【参加者】 斧田一陽 倉谷邦雄 杉本佳英 武田壽夫
 中村賢三 宮本廣 計6名

2018年7月15日(日) 9:30～15:30

天候：晴(12時の気温：27℃)

エリア：44林班い(干害防備保安林一帯)

内容：林床整備と簡易木柵の改良

【参加者】 石原順子 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄
 武田壽夫 中村賢三 宮本廣 山本國雄 計8名

2018年8月2日(木) 9:30～15:30

天候：晴(12時の気温：27℃)

エリア：44林班い(V2谷通りと西側のモニタリングー調

査区尾根)

内容：台風12号の影響把握と復旧(特に木柵とその周辺の現況チェック)

・林床整備(枯損木・倒木の処理と過密な広葉樹の除伐)、里道改良の調査 など

【参加者】 斧田一陽 倉谷邦雄 後藤和子 武田壽夫
 豊田哲也 山本國雄 計6名

2018年8月19日(日) 9:30～15:30

天候：晴(12時の気温：24℃)

エリア：45林班に-01(作業小屋とその周辺)

内容：現地での安全研修 など

【参加者】 石原順子 泉家恵子 斧田一陽 倉谷邦雄
 河野直子 黒山泰弘 杉本佳英 武田壽夫 宮本廣
 山本國雄 計10名

2018年9月6日(木) 9:30～15:30

天候：晴のち薄曇(気温：26℃)

エリア：44林班い・ろ他

内容：台風21号の被害状況の確認と当面可能な復旧作業など

【参加者】 石原順子 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄
 武田壽夫 豊田哲也 宮本廣 山本國雄 計8名

2018年9月16日(日) 9:30～15:30

天候：晴のち曇のち少雨

エリア：44林班い、45林班ろ-04・に-03

内容：台風21号による通行障害の回復と被害状況確認未了地域の巡視

【参加者】 泉家恵子 斧田一陽 倉谷邦雄 河野直子
 後藤和子 薦田佳一 黒山泰弘 武田壽夫 中久保忠伸
 中村賢三 宮本廣 山本國雄 計12名
 以上

第2回茶話会

日時 2月5日(火) 17:30～19:30(出入り自由)

山へ誘ってくれた本、感銘を受けた本、紹介した本など、また自己研鑽の発表なども5～10分程度のお話し。もちろん聞き手に回るのも大歓迎です。

お気軽にご参加ください(飲食物の持ち込み可)。
 支部ルームでお待ちしています。



自己紹介 (皆さんよろしく)

豊田哲也(会員番号15727)

4月に広島支部より移籍しました。小さい頃は昆虫少年。初登山は小5の遠足の宝満山(福岡)。今年8月19日の笠ヶ岳で日本の山千山登頂となりました。本格的に山に目覚めたのは大学4年夏の槍穂高縦走です。その後京都の山岳会に入り岩、雪、沢をオールラウンドに経験しました。結婚してからはハードな山行から遠ざかり、ファミリー登山や転勤が多いため単独行主体となりました。北は秋田から南は鹿児島迄12回転勤し、行く先々で自然に親しむ中で地域による森林の違い、湿地や草原等の生態系、草木、野生動物、野鳥、祭り、民俗・宗教、文学、歴史、山城、地球温暖化による環境変化等興味が広がりました。60歳で定年退職。これからは好きな事をやろうと、1年目は森林インストラクター資格に挑戦。合格後フリークライミングに挑戦、3か月スクールに通いました。ジムで知り合った方と週2回外岩に行くようになり、その御縁でJAC広島支部に入会しました。最初は20kgの荷を背負うのもやっとでしたがトレーニングを重ね、61歳でモンブランに挑戦、体調不良で敗退しました。62歳で運よくガイド登山でマッターホルンに登頂できました。63歳で日山協山岳指導員に挑戦、64歳の時公認山岳指導員の認定をいただきました。広島支部では細見谷、三段峡二谷、四国菅生谷・丸石川・工石谷等の沢登り、燕岳～徳本峠・鏡平～黒部五郎～寺地山積雪期縦走、大山・千丈岳積雪期登山、中国山地の藪山等をやっております。これ迄は百名山や山の数より値打ちある山行を志向してきました。一般登山道よりバリエーション、沢登り、雪山、藪漕ぎといった自分で道を判断していく山が好きです。百名山(現在64山)も二百名山も三百名山も登ってみたい。海外も行きたい。「チャレンジすれど無理をせず」をモットーに安全第一で山に行きたいと思っています。ぜひお声掛け下さい。一緒に山に行きましょう。

(とよだ・てつや 2018/10/01受)

野村好子(準会員番号A0104)

高校時代に初めて登った夏の立山に魅せられ、その後、春山、冬山、Mt.アサバスカ(CA)、スイスの山々のハイキング、氷河ハイク(NZ)など、夫や夫の山仲間たちと

楽しんできました。

今年の三月には、夫が登ったダウラギリ方面へトレッキング、8000mの山は大きく美しく神々しい。あんな山に登ったなんて！！人間は偉大だ、アメイジング！！

これからは年齢にあった(70歳代)花を愛でながらの山歩きを！と思っています。

よろしくお願いいたします。

(のむら・よしこ 2018/10/19受)

金川清弘(支部会友番号90029)

私は2017年10月小林三喜男、田中アキエさんに紹介頂き、初めて「ゆるやか山行」に参加いたしました。私の故郷は加古川市北西の山間にある小さな集落です。近くに低い山が多く、小学生の頃より終日山々を歩きまわって遊んでいました。それ故、今でも山が好きです。

初めて本格的な登山をしたのが穂高岳でした。20歳最後の頃です。ところが涸沢ヒュッテで登山靴を小さい靴と取り替えられ、穂高岳の頂上から上高地まで8時間余りを殆ど裸足で下山したため、熱を出してしまい医師の治療を受けるはめになった苦い思い出があります。次に登ったのは白馬岳です。この2日目台風に遭遇し、2日間山荘に閉じ込められ、翌日山岳救助隊に誘導され、全員雪渓に撒かれたベンガラの跡をたどりながら下山しました。何故か日本アルプスは、私には忸怩たる思い出しか残っていません。その後は、散歩する程度で殆ど山に登ることはありませんでした。

定年退職後の65歳から70歳にかけては標高500～1000m前後の関西の山々によく登りました。その後、75歳まで山登りを止めていましたが、80歳を目前にして日本山岳会関西支部に入会する機会を得られ、元気な会員の皆さまとふれ合え活力を頂き、健康に過ごせる喜びを感じるこの頃です。

今後も無理をせず、出来得る限り長く山行を続けたいと思っています。

(かながわ・きよひろ 2018/10/27受)

ヨーロッパ・アルプスでお部屋を覗く

嶋岡 章

2000(平成12)年7月にヨーロッパ・アルプスに出かけた。シャモニーではラックブラン・ハイキングの後、モンブランにアタックしたが、天候悪化により敗退。シャモニーでは三星ホテル「リッチモン」に宿泊した。最初はモンブランが見える南東側の部屋(図1)をあてがわれたが、2~3日後には

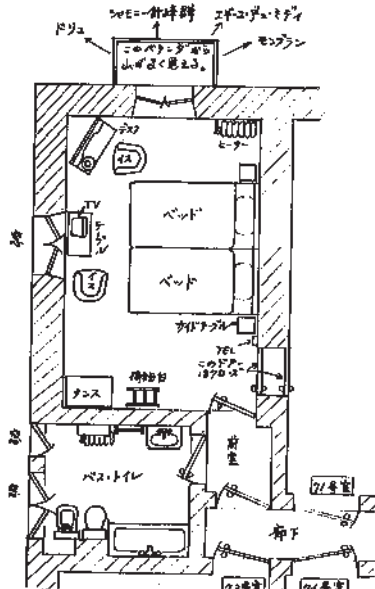


図1 HOTEL RICHEMOND 4F 72号室

反対側の赤い針峰群が見える部屋(図2)に移される。新しい宿泊客にモンブランビューの部屋を提供するためだ。図2の部屋は西端だったので、かろうじてモンブランが見える。

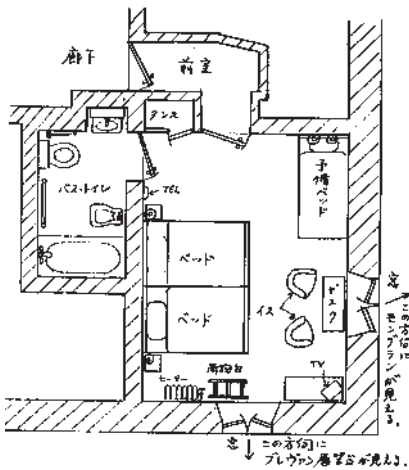


図2 HOTEL RICHEMOND 3F 50号室

ツェルマットに移動して、ホテルアルファ(図3)に宿泊。翌日、ローテンボーゲンからツェルマットまでハイキングした。リッフェルゼーから逆さまッターホルンが見えるはずだったが…。

ついでグリンデルワルトに移動したが、天気が悪く収穫は何もなかった。

2002(平成14)年8月から9月にかけてマッターホルンに登るべく、单身ツェルマットに入ったが、冷夏で登路のヘルン

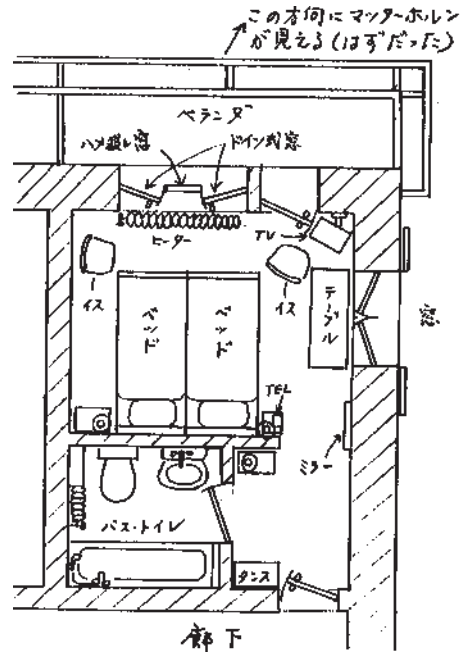


図3 HOTEL ALFA 1階10号室

リ稜が凍結しアタック出来なかった。代わりにボルックス、ブライトホルン、アラリンホルンなどの4000m峰を登った。

この時、ツェルマットでは『地球の歩き方』で見つけたホテル・ミシャベルに泊まった。ほとんどの部屋は、トイレ・バスは共同使用であるが、この部屋(図4)には付いていた。外食すると高くつくが、このホテルは安くてうまい夕食が食べられるのでトータル的には安くなった。

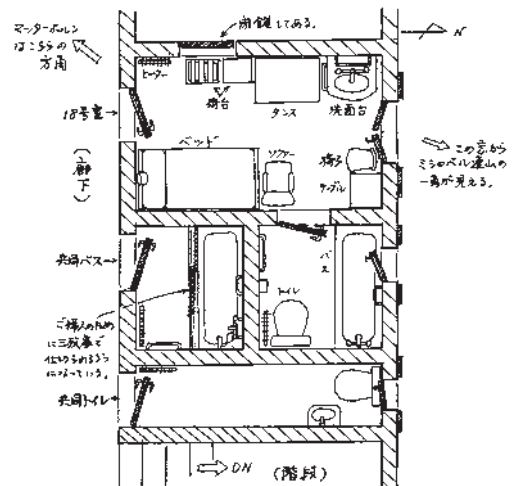


図4 HOTEL MISCHABEL 3F 13号室

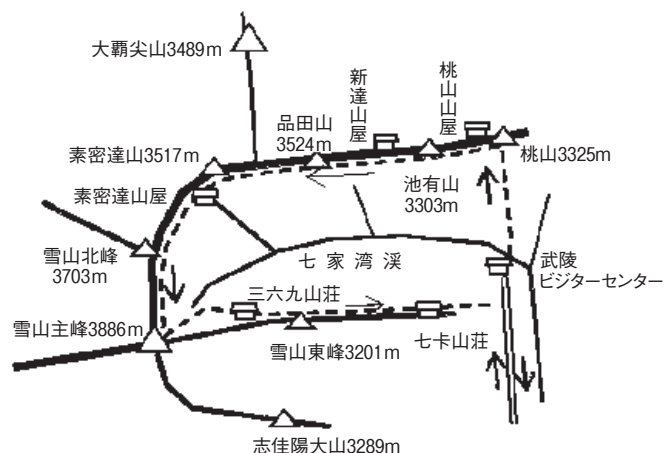
【編集注】 本稿は9月28日に開催された「第1回茶話会」でお話しされた一部を掲載するものです。妹尾河童氏の『河童が覗いたヨーロッパ』に刺激を受けてお部屋の平面図や鳥瞰図を描き始められたとのこと。

ちなみに前号「茶話会案内」のカットも同人の作です。

台湾高峰と溪谷 第3回 雪霸O型線縦走(2013年10月)

茂木完治

聖稜線は名だたる難コースで、台湾北部の雪山山脈の大霸尖山(3489m)から台湾第二の高峰・雪山主峰(3886m)に至る山稜である。7月の台風で大霸尖山の入山ルートが崩壊してしまい、大霸尖山をあきらめて聖稜O型線縦走に変更した。これは武陵から桃山(3325m)に登り、七家灣溪を囲むようにして縦走して雪山主峰に至る。七家灣溪には鱒科の南限と言われる台湾ヤマメが生息している。1984年に茂木等によって初溯行されたが、自然保護のため現在は入溪が禁止されている。



10月26日 空港で中華民国溯溪協会の陳孔為氏の迎えを受け新平市板橋区のホテルに投宿した。

27日(晴)宜蘭で林美石盤歩道を観光し、途中の民宿で彰化県登山協会の許基滄氏、侯国勝氏、20歳を超えればかなりの可愛い呉佩秋さんと合流した。今回は、許さんと呉さんが同行してくれることになった。夜は南山農場の民宿に泊まった。近くのレストランへ晩飯に行ったが、たまたま結婚式の宴会が盛り上がっていてカラオケの音がすさまじかった。

28日(晴)南山農場から思源埡口を越えて武陵へ入った。武陵の駐車場でポーターと合流して登山開始。この標高は1900mで、桃山頂上へは標高差1400m、悪名高き登りである。登るにしたがって無明山(3451m)、鈴鳴山(3272m)、合歎山(3417m)といった中央山脈の中堅どころの山が見え始め、さらに登ると三尖の一つ中央尖山(3705m)、五岳の南湖大山(3742m)も見え始める。雪山主峰はさすがに高い。やがて雪山山脈の尾根越しに大霸尖山の特異な山容が見え始め、7時間近くかかり桃山山頂に着いた。女性陣が元気にまず到着。高所順応ということでは女性が強いのかもしれない。山頂の樹林に建つ桃山山屋では天水で、澄んだ水を使えたのがありがたか

った。

29日(晴)今日は半日行程なのでゆっくり出発した。池有山(3303m)に登り、池有山分岐で昼食にした。今夜泊まる新達山屋には天水タンクはあるが水は一滴も溜まっていない。黄色く色づいた水を池で汲んでいると、ポーターがどこからか澄んだ水を持って来てくれた。夕方、30人くらいのツアー登山隊が登ってきた。

30日(晴)朝5時半に出発した。南湖大山の肩から朝日が上がってきた。岩場を下ってコルから登り返せばすばらしい景色の品田山(3524m)頂上だった。ここからが正念場の岩場で、ロープで確保する箇所もあった。落ちれば奈落の底へ落ちるであろう。布秀蘭山(3438m)から素密達山(3517m)、穆特勒布山(3626m)の北面の大岩壁は1000mはあるだろう。すごい迫力で下の大安溪に落ち込んでいる。素密達山頂で山岳カメラマンだろうか三脚を立てて品田山にカメラを向けている人がいた。ロープを出す岩場を下り、樹林を登り返して素密達山屋に着いた。小屋には天水の設備ができていて澄んだ水が容易に手に入ったのがありがたかった。

31日(晴)今日が正念場というべき日である。暗い中を出発する。穆南鞍部営地の脇にある枝が捻じ曲がった異様な姿のハイビャクシン樹が印象的だった。雪山北峰(3703m)頂上で記念写真を撮ったりして結局1時間休んでしまった。頂上から1時間下ると雪北山屋があり、さらに2時間半で黒森林水源路の分岐に着いた。北稜角(3880m)あたりから異様な雲が出てきた。台風が東から接近していたのだった。雪山主峰からの下山途中でヘッドランプを頼りにして下り、三六九山荘に着いた時は19時半。今日は15時間行動だった。ともかく疲れた。



3500m超の稜線を辿る 写真提供：黄泰榮

11月1日、朝起きると雨だった。昨日までの好天を山の神に感謝するのみ。下山すると武陵の登山口に陳孔為さんが車で迎えに来てくれていた。彰化県で黄孟宗さん等から歓迎をいただいたり、中華民国溯溪協会の歓迎会があったりして5日の昼の飛行機で帰国した。
(同行)山内幸子 久保和恵 辻和雄 野口恒雄 ほか5名

【追記】 現地の移動でお世話くださった陳孔為氏は、本年8月に日本山岳会会員になられて喜んでおりましたが、9月22日心臓疾患によりお亡くなりになりました。日本と台湾を結ぶ大事な絆が一つ失われてしまったことが残念です。今までのご厚意に謝すとともに心からご冥福を祈ります。

Room日録 2018年

8月1日(水) 支部報編集作業 支部事務処理	9月12日(水) 支部報発送 関西登山史研究会	9月28日(金) 茶話会
16日(木) ナンガマリ報告書編集会議	18日(火) 会計事務	10月3日(水) 関西登山史研究会
21日(火) 会計事務	20日(木) 登山文化研究会 役員会	7日(日) 支部事務処理
22日(水) 総務委員会	21日(金) ナンガマリ報告書編集会議	11日(木) 役員会
27日(月) 役員会	26日(水) 山行委員会	19日(金) 会計事務
28日(火) 支部事務処理	28日(金) 図書委員会	22日(月) ナンガマリ報告書編集会議
9月8日(土) 支部事務処理		31日(水) 登山文化研究会

受贈一覧

(2018.8.1～2018.10.31受理分)

アルプスの山々に魅せられて 関戸一考・京子著 みどり総合法律事務所
AACK人物抄 平井一正
猿投の森：森づくりの気くばり、目配り 鈴木治男著 日本山岳会東海支部猿投の森づくりの会
山岳おおさか No.217, 217別, 218 大阪府山岳連盟
山嶽寮：甲南山岳会通信 第73号

JAC-TOKAI GUIDE 2018 日本山岳会東海支部
雪溪：わが山の画文集 金澤康夫
雑木林 21号 日本山岳会東海支部猿投の森づくりの会
日本山岳会「高尾の森」通信 vol.71
日本山岳会高尾の森づくりの会
登山月報 第593, 594, 595号 日本山岳・スポーツライミング協会
中部博之画集：山の賛歌 中部博之
兵庫山岳 第614, 615, 616号 兵庫県山岳連盟

日本山岳会支部報
・茨城支部報 No.10
・群馬支部報 第8号
・[東京]たま通信 第33,34号
・信濃支部報 第66号
・東海支部報 No.155
・JAC北九だより 第86号
・東九州支部報 第82号
※発行者と同一の寄贈者は、御芳名の表示を省略
※電子版による受贈は、掲載省略

2019年1月～3月 支部山行計画

※申込は、e-mailで支部宛、もしくは末尾の担当者宛に行ってください。(いずれも締切厳守)

18-40 陽だまり山行

「雄鷹台山から後山」

日時：1月6日(日)

集合：播州赤穂駅 9時45分

大阪駅発8:00播州赤穂行新快速乗車

コース：播州赤穂駅～雄鷹台山登山口～雄鷹台山～後山～浜市～坂越駅

備考：兵庫100名山にふさわしい展望のいい山で、眼下に赤穂市街と播磨灘の家島諸島・小豆島・淡路島を眺めながら歩く

下りに急な悪路の箇所がありますのでここだけは要注意です

申込み：12月24日(月)迄(担当：山内幸子)

18-41 しっかり歩こう

「愛宕山から朝日峰」

日 時：1月20日(日)

集 合：JR保津峡駅 8時40分

コース：保津峡駅～ツツジ尾根～愛宕山～朝日峰～高雄BS

備 考：雪等の状況によりコース変更あり

申込み：1月10日(木)迄(担当：山内幸子)

18-42 4000山グランプリ

「奥獅子吼山 929m」

日 時：1月26日(土)・27日(日)

コース：鶴来駅～加賀一ノ宮～後高山～奥獅子吼山～白山比咩神社

備 考：詳しくは担当者に問い合わせて下さい

難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：1月18日(金)迄(担当：重廣恒夫)

18-43 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く14

「柳生街道コースⅡ」

日 時：1月31日(木)

集 合：近鉄奈良駅改札口前 10時

コース：近鉄奈良駅～滝坂道入口～寝仏～首切り地蔵～石切峠～円成寺～忍辱山BS(バス)近鉄奈良駅

地 図：2.5万分の1「奈良」「柳生」

備 考：歩行距離約12km 歩行時間約5時間

申込み：1月23日(水)迄(担当：久保和恵)

18-44 レスキュー講習会

消防署の講習会「普通救命講習Ⅰ」

日 時：2月3日(日) 午後1時半～4時半

会 場：セルロイド会館3階会議室

受 付：午後1時～

備 考：募集20名程度 受講無料

呼吸や心臓が止まった時に大切な「AEDの使い方」を含む心肺蘇生法を学びます 1回受講すればよい技法ではなく、何回も実技実習を受けないと役立ちません

申込み：1月26日(土)迄(担当：茂木完治)

18-45 スキー山行

「ハチ北スキー場」

日 時：2月15日(金)・16日(土)

備 考：新大阪&三宮発バスツアー利用

一泊二日夕朝食・リフト券二日分付
¥22000～¥23000程度予定

[往路] 新大阪7:20・三宮8:00頃出発

[復路] スキー場16:30出発 新大阪着20:00

申込み：1月30日(水)迄(担当：小黒節郎)

18-46 4000山グランプリ

「蘇武岳 1074m」

日 時：2月23日(土)・24日(日)

コース：八鹿駅～金山峠～蘇武岳～名色～江原駅

備 考：詳しくは担当者に問い合わせて下さい

難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：2月15日(金)迄(担当：重廣恒夫)

18-47 ゆるやか山行 東海道自然歩道を歩く15

「柳生街道Ⅰ・笠置山コース」

日 時：2月28日(木)

スケッチ同好会 例会のご案内と報告

第27回【案内】

日 時 平成31年1月21日(月)

行 先 神戸北野・異人館

集 合 阪急三宮駅東口 午前9時

申 込 平成31年1月14日(月)迄 金井良碩

e-mail kanai-y@w4.dion.ne.jp

電話 090-8206-9566

備 考 雨天の場合 神戸市博物館、又は兵庫県立美術館訪問

詳細は後日参加者に連絡

第28回【案内】

日 時 3月11日(月)

行 先 大阪南港 天保山公園周辺

集 合 地下鉄大阪港駅 午前10時

申 込 平成31年3月5日(火)迄 薦田佳一

e-mail komoda-keimasa@giga.ocn.ne.jp

電話 080-5704-1731

備 考 雨天の場合支部ルームで勉強会
詳細は後日参加者に連絡

【報 告】第25回神戸学院大学PIキャンパス

9月10日実施予定は大雨・洪水警報発令中につき中止

集 合：近鉄奈良駅改札口前 9時
 コース：近鉄奈良駅(バス)忍辱山BS～夜支布山口神社～南明寺～ほうそう地蔵～芳徳寺～柳生バス停～京都・奈良県境～笠置寺～JR笠置駅
 地 図：2.5万分の1「柳生」「笠置山」
 備 考：歩行距離約12km 歩行時間約5時間半
 申込み：2月20日(水)迄(担当：久保和恵)

18-48 しっかり歩こう

「雪山 氷ノ山 1510m」
 日 時：3月2日(土)・3日(日)
 コース：東尾根登山口～千本杉ヒュッテ(泊)～氷ノ山～ハチ高原
 備 考：神戸大「千本杉ヒュッテ」利用
 ヒュッテにはシュラフ・調理道具など有
 ワカン、スノーシュー、山スキーでの参加い
 ずれも可 詳細は参加者に連絡
 車利用の方が何かと便利ですので車の提供を
 お願いします
 申込み：2月22日(金)迄(担当：山内幸子)

18-49 親睦山行

「岩湧山 898m」
 日 時：3月10日(日)
 集 合：河内長野駅9時頃
 南海バス滝畑ダム行乗車
 コース：滝畑ダムバス停～ダイヤモンドトレール出合～カキザコ～扇山分岐～岩湧山～五ツ辻～三合目～紀見峠駅
 備 考：支部山行に参加したことが無い方、山行が久しぶりの方、山行経験が少ない方、参加して下さい
 全ての会員の参加を歓迎します
 バスの乗車時間は参加者に連絡
 申込み：3月1日(金)迄(担当：黒田記代)

18-50 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く16

「木津川コース」
 日 時：3月21日(木)
 集 合：JR笠置駅改札口前 10時
 コース：JR笠置駅～布目川発電所～相楽発電所～大河原大橋～高山ダム～JR月ヶ瀬口駅
 地 図：2.5万分の1「島ガ原」「月ヶ瀬」「笠置山」
 備 考：歩行距離約13km 歩行時間約5時間
 申込み：3月13日(水)迄(担当：久保和恵)

18-51 4000山グランプリ

「三輪山 1069m・中三方岳 1306m」
 日 時：3月23日(土)・24日(日)
 コース：鶴来駅～内尾～口三方岳～三輪山～口三方岳～中三方岳往復
 備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
 難易度の高い山 テント山行 一般参加可
 山岳保険加入が必須
 申込み：3月15日(金)迄(担当：重廣恒夫)

ステップアップ登山教室 一般対象 募集中

【初級】

- 1月19日(土) 紅葉谷～金剛山頂
- 2月2日(土) 蛇谷ヶ峰
- 3月2日(土) 多紀アルプス

【中級】

- 1月22日(火) 白石谷～六甲最高峰
- 2月12日(火) 西滝ヶ谷～極楽茶屋跡
- 3月12日(火) 西山谷～水晶山

【上級】

- 1月31日(木) 比良山・蓬萊山
- 2月21日(木) 比良山・堂満岳
- 3月7日(木) 比良山・蓬萊山

2019年1月～3月 自然保護行事案内

- 1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)
 活動日：毎月第1木曜日、第3日曜日に開催
 *体験作業・森林観察参加、本山寺山森林づくりの会
 入会歓迎
- 2 東お多福山ススキ草原復元活動・自然観察会
 ・参加希望者は直接お問い合わせください

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 TEL&FAX 072-633-6556 / 090-4037-4542
 ※締め切り：開催日の一週間前まで
 ※集合：本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前
 東お多福山 阪急芦屋川駅前
 いずれも午前8時50分



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI-PRIMUS
イワタニ・プリムス株式会社
www.iwatani-primus.co.jp
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20

登山計画書(届)の提出を！

遭難対策として登山計画書(書式改訂しました)を提出してください。

計画書の作成は、より豊かな山登りへの第一歩です。

- ・個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキング
- ・緊急連絡先(留守本部)は家族でも可
- ・出発の直前でも提出可
- ・やむをえない場合は未完成でも可

□提出先：関西支部安全委員会

- ①メール：keikakukansai@yahoo.co.jp
 - ②FAX：0742 (48) 5946 黒田記代
 - ③郵送：〒630-8034奈良市五条西1-29-4 黒田記代
- ※各警察署等へは別途提出してください。



MONTURA

山と自然を愛するすべての人に、
イタリア生まれのモンチュラの製品は
アルピニスト、クライマー、トレイルランナーなどの方々に
実用的かつ機能的な製品を提供します。

MONTURA OFFICIALSITE montura.jp MONTURA ONLINE SHOP montura.jp/store/




至本町 心斎橋駅①出口 長堀通

MONTURA直営店
ALPSTATION 心斎橋店
大阪市中央区南船場3-1-8
南船場ドリームビル2F
TEL 06-6484-7126
営業時間/11:00~19:00(火曜定休)
alp-osaka.jp



登山用品専門店
ロッジ

ハイキング用品から本格登山・クライミング用品まで、最新の山登り道具をたくさん揃えています。経験豊富なスタッフ一同、100%接客をモットーに皆様のご来店を心よりお待ちしております。

冬山ギア・ウェア
取り揃えております

大阪店 TEL 06-6341-5578
大阪市北区梅田1-11-4 駅前第4ビル2階

京都店 TEL 075-222-0363
京都市中京区御池通高倉西入高宮町200
千代田生命御池ビル1階

営業時間 11:00 ~ 20:00

ロッジプレミアムショップ
楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>
Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>
Instagram京都 <https://www.instagram.com/lodgekyoto/>
Instagram大阪 <https://www.instagram.com/lodge.osaka/>
検索エンジンで「ロッジ」を検索してください。

URL 一覧 QR



〈編集後記〉

☆年の瀬が間近です。山野に四季折々の花や昆虫の姿はなく、すっかり葉を落とした木々。その情景は、まさしく「山眠る」でしょうか。木枯らしが吹いてからこちら、野鳥が木々を飛び交っています。シジウカラ、ジョウビタキ、コゲラ、ヤマガラ、メジロ、ツグミなど、目や耳を楽しませてくれます。静寂に包まれている冬だからこそのたまものです。眠っている山々が目を覚ますまで、野鳥観察などしながら里山歩きをするのも、冬山の楽しみ方の一つと思っています。(久保)

発行日 2018(平成30)年12月10日
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室
公益社団法人 日本山岳会関西支部
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00930-6-55950
発行者 金井良碩
編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄
制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



GARNEAU ガノー スノーシュー

・BOAシステムで簡単装着、わずか20秒!
・バックカントリー向けながらペアで1.8kgの超軽量
・ヒールリフター付きで登りも楽に

ビクトリーサミット

¥34,800+税

輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788

山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

毎月
15日
発売

【1月号特集】年末年始の山

★メンバーのウェブサイト、全国のメンバーストアや書店にて発売中!

価格815円(+税)

▶年間購読がおすすすめ 購読割引 送料無料 限定品プレゼント

通常価格
12冊

9,780円
(+税)

年間購読
12冊

8,965円
(+税)

1年間で、1冊分
815円おトク!



2019
1
January
No.859

年末年始の山

年間購読のお申し込み WEB <https://www.gakujin.jp/> モンベルストアでも受付中

お問い合わせ モンベルポスト ☎0120-982-682 / TEL 06-6538-5797
※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

〒6068161
京都市左京区二乗寺木ノ本町15

ナカニシヤ出版

TEL 0757230111
FAX 0757230095

表示は本体価格です。



伊吹山案内

草川啓三 著
A5判 184頁
写真・地図多数
1,900円

百名山にも選ばれている花いっぱい
の名山・伊吹山。少し視点を変
えて深く入山してみると、「花」
以外にもさまざまな魅力が見えて
くる。



京都府山岳総覧

A5判 272頁
口絵カラーほか
写真・地図多数
2,200円

京都府の339の山を实地踏査し
て、登路を含めて解説。主な山に
は概念図・写真を加えた、京都の
山の最も詳しい案内書。標高100m
以上全三角点を掲載。

京都府339山案内

内田嘉弘・竹内康之 編著
A5判 272頁
口絵カラーほか
写真・地図多数
2,200円



大阪の山歩き100

A5判 184頁
オールカラー
写真・地図多数
1,800円

大阪の山々はそれぞれに歴史があ
り、個性に富んでいる。バスや電
車を利用して家族づれで登れる
コースを100山・100コース
選んだウォーキングガイド。

街中から気軽に楽しむ山歩きガイド 清水満 著



山登りはこんなにも面白い

窪田晋二・檀上俊雄・草川啓三・中西さとこ・横田和雄 著
A5判 160頁 写真多数 1,800円

自分の意思をもって山に向かっ
ている5人の登山者。それぞれが
考える山登りの素晴らしさ、楽し
さ、面白さを語る静山紀行。

【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーからのご案内

【山麓乗り入れ】キリマンジャロゆったり登頂と アルーシャ国立公園サファリ 10日間

出発日～帰着日	旅行代金(大阪発着)
2/8(金)～2/17(日)	¥526,000
2/22(金)～3/3(日)	¥526,000

あこがれの名峰キリマンジャロ。
高所順応日を設けたゆったり登
頂での登山日程です。是非、登
頂を目指して、チャレンジしてみ
てください。



▲アフリカ大陸最高地点・ウフルピーク

【創業50周年記念特別企画】 花咲く桃源郷フンザと グレート・カラコルム展望トレッキング 10日間

出発日～帰着日	旅行代金(大阪発着)
3/22(金)～3/31(日)	¥342,000

桃源郷と称されるフンザの春
は、杏子や桃の花が咲き誇り、
雪山に囲まれながら華やかな
風景が広がります。パス一氷
河周辺では名峰を望みながら
のハイキングを楽しみます。



▲ホーパル村からのウルタルII峰(7,388m)